

真冬でもTシャツ1枚で過ごしています…

⇒エアコンや加湿器などで室内の
温度、湿度を調整しましょう

【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

“今日は寒そうだから上着を着よう”などと、**その場にふさわしい判断や対応が取れなくなるのは、認知症の代表的な症状の一つです。暑さ、寒さを感じる神経が弱っていて、本人は寒さを感じていません。**

まして、認知症の人はさまざまな社会規範や拘束から解放されて、ある意味自然人になったような状態でもあります。**無理強いされれば、無理やり押し付けられたという嫌な感情だけが残る**可能性があります。それでも風邪をひいてしまわないかご心配ですよ。

【 対応方法 】

①気温が低いのに本人が薄着でいる場合は、**エアコンや加湿器などで室内の温度、湿度を調整**しましょう。

②この症状が現れる時期は、**代謝が活発で、比較的エネルギー消費量も高い**ので、一般的に冬に薄着でも、風邪をひくことはありません。

しかしどうしても、上着を着てほしいと思う場合は、**第三者の言葉なら耳を傾けてくれる**場合があります。担当医師や、普段接していない子どもや孫から声をかけてもらいましょう。

③どうしても上着を着た方がいいと思うときは「今、おいしいお茶を入れますから、ちょっと座ってくださいね」と言って、**穏やかな雰囲気を作り**、再び外出しそうであれば、コートや羽織るようすすめてみてください

参考文献：杉山孝博, 認知症の9大法則50症状と対応策, 法研, 2013, P72-73



2022.6作成